



BCI 認定資格取得者のための受験要綱

2012年1月改訂

Business Continuity Institute, Japan

主要なコンタクト情報

BCI (Examination Administration Office)

1964 Gallows Road

Suite 330,

Vienna

Virginia

VA 22314 USA

TEL +1 (703) 637-4424

Fax + (703) 535-6474

NB Examination Administration is not managed via the UK office

PES (Examination Partner)

475 Riverside Drive, 6th Floor

BCI Testing Office (437)

New York, NY 10115 USA

TEL +1 (212) 367-4372

Fax +1 (212) 367-4321

Prometric (Examination Venue Provider)

BCI Programme

1501 S. Clinton St

Baltimore, MD 21224

TEL +1 (800) 532-2218*

日本における連絡先

試験お申込みおよび試験要項に関するお問い合わせ：contact@thebci.jp

BCI 日本支部に関するお問い合わせ：info@thebci.jp

また上記以外については下記をご覧ください。

BCI に関する問い合わせ

http://www.thebci.org/index.php?option=com_content&view=article&id=135&Itemid=200

資格&その他 FAQ

<http://www.bcifiles.com/FAQsabouttheBCI2011.pdf>

[目次](#)

[はじめに](#)

Business Continuity Institute とは
資格概要
試験概要

[受験勉強](#)

受験の準備
教育・訓練情報
[BCI E-ラーニング&トレーニングコース](#)

[試験申込み](#)

試験の受験資格
倫理規約
受験申込み登録
試験の予約
試験会場

[試験申込み後について](#)

代理受験
試験会場設備に関する特別な配慮
試験予約の変更およびキャンセルに関するポリシー

[試験当日](#)

身分証明の提示
試験会場のルール
天候不良、地域・国レベルでの緊急事態

[試験後](#)

試験結果の受領
スコアリングとスコアレポート
スコアレポートの見方
合格レベルの設定
スケールドスコアの説明&使用理由
標準化について
再受験
資格維持
資格更新
試験結果の無効
資格剥奪
試験結果意義申し立て

[BCI 認定プロフェッショナル会員資格申請](#)

推奨合格スコアの決定
BCI 認定プロフェッショナル会員資格取得要件

プロフェッショナル会員資格の申請プロセス
試験後 - 資格要件適合監査

はじめに

Business Continuity Institute とは

Business Continuity Institute のビジョン

事業継続マネジメント（BCM）の手法と知識を促進すること。

Business Continuity Institute について

Business Continuity Institute（BCI）は、1994年に、Business Continuity（事業継続）の実務家同士が相互に指導と支援を行うために設立されました。

BCIでは、会員が一定した高い水準でBCMを実施・運用できる技量を有していることを示すため、国際的に認められたBCI認定プロフェッショナル会員資格としてのステータスを与えています。

BCIには、90か国以上から5200人を超える会員が所属しています。

BCIは、事業継続マネジメントとそのサービスを提供し維持するために、最高水準の専門能力と商業倫理を促進するという幅広い役割を担っています。

資格概要

資格を持つ利点は？

資格を保持していれば、保持していない場合と区別され、また際立つことができます。資格を取得することの利点は数多くあります。資格は、仕事内外において、あなたの専門知識が一般に認められることに他なりません。多くの人々にとり、資格の取得は自身の専門性の目標となっています。また自分の知識を試し、同僚との対比に用いる方法なのです。他には、資格を自身のキャリアアップの助けになると考える人もいます。

BCI資格

BCI資格は、2007年に導入されました。認定試験合格者は、CBCI（Certified by the Business Continuity Institute）と名乗ることができます。

CBCIはそれだけで独立した資格ですが、事業継続の実務経験を積み、それを証明出来る実務家は、BCI認定プロフェッショナル資格取得への申請をすることが出来ます。

BCI試験合格&資格の意味

BCI試験に合格することは、BCIのGPG（Good Practice Guidelines）2010に纏められているようなBCM知識の理解を市場に対して示すことができます。と同時にBCI認定プロフェッショナル会員資格への申請を可能にします。

BCIは、BCMの分野における雇用のための要件を定義する意図はありません。BCI認定資格の取得は、事業継続マネジメントの実践に関する学位、法的な免許、権限またはライセンスを授与するものではありません。

受験に合格したが、プロフェッショナル資格への申請を希望しない場合には、CBCI認定資格者を名乗ることが出来、下記のBCIウェブサイト上で資格保有者名簿に掲載されます。CBCI資格保有者、3年毎に再受験しなければいけません。

<http://www.thebci.org/cbciregister.pdf>

試験概要

試験の説明

2時間で行われるBCI資格試験は120の選択式問題からなります。

試験のコンセプトおよび問題分野は、BCIの専門家達 (SME)により作成されたGPG2010を分析・研究することにより、作成されています。それぞれの質問には4つの選択肢があり、その内の1つが正解、または「最良の回答」となります。

100問のうち、20問は「プリテスト」と位置づけられており、試験全体にわたってランダムに配置されています。プリテスト質問は得点には加算されません。しかしながら、それらの質問は、最新のBCI資格試験問題選出において重要な要素であり、試験の合格基準に達する受験者とそうでない者を区別する試験の難易度および有効性を統計的に評価するために使用されています。プリテスト処理で収集された情報で将来の試験に採点対象の質問として加えるべきかどうかを決定します。

試験はBCIの試験会場提供者であるPrometric Inc.が提供しています。Prometricはコンピュータベーステスト (CBT)会場の国際的なネットワークを保持しています。試験開始前には、チュートリアルが画面上に表示されます。このチュートリアルでは、参考例を用いてテストの進め方を教授します。チュートリアルは試験前に最大5分の時間を使って実施します。この時間は試験時間には含まれず、また得点に対しても考慮されません。

試験中は、未回答の質問や要見直しとマークした質問、またはその他あらゆる質問を見直すことができます。テスト項目を見直した上で、必要に応じて回答を変更することができます。ですが、試験に割り当てられた時間がなくなる、または試験会場から退場すると、再び質問を見直すことができなくなります。

質問、コメントおよび出口調査

試験終了時に、テストに関する調査がオプションとして提示されます。受験者はそれぞれの質問に対してコメントを述べることができます。項目に対してコメントを提出した受験者が、コメントに対する直接の返答を受け取ることはありません。ただし、提出していただいたコメントは研究および文書化の目的において役立たせていただくことを、受験者の皆様には保証いたします。

試験シラバス

BCI認定資格試験は、BCIのGood Practice Guidelines 2010 (GPG)に基づいて主題されます。GPGは下記のサイトで参照できます。

<http://www.thebci.org/gpgdownloadpage.htm>



試験は、上記BCMライフサイクルにおいて示されている、事業継続マネジメントの主要原則から出題されます。

これらの 6 つの主要原則について、ライフサイクルモデルにおける認定資格取得を行おうとする個々人の技量を証明するために必要とされる個人のスキルおよび経験という観点から説明します。

BCM ポリシーおよびプログラムマネジメント - 次の知識と経験を示す必要があります。

- 事業継続マネジメントプロセスのための要件を確立すること。
これには、レジリエンシーにおける戦略、復旧の目標、事業継続およびインシデントマネジメントの計画と、当該プロセスに対する経営者の支持を得ることが含まれます。
- 統合リスクマネジメントのイニシアティブと協調した、またはその主構成要素の一つとしての、機能またはプロセスを体系として組織し管理すること。
- インシデント発生中における、メディアを含む外部ステークホルダーとのコミュニケーションに関する計画を作成、調整、評価し、演習すること。

組織の理解 - 次の知識と経験を示す必要があります。

- 組織に影響を及ぼす可能性のある中断や災害のシナリオから発生する事業への影響を明確にし、このために必要とされる定量的および定性的な分析手法の開発を含んだ事業インパクト分析を行うこと。
- 重要な機能、当該機能の復旧優先順位、相互依存関係を明確にして、目標復旧時間を設定できるようにすることを含んだ事業インパクト分析を行うこと。
- 中断や災害の発生によって、組織やその施設に悪影響を及ぼす可能性のある事象や周囲の環境を判定し、このような事象が発生した場合の損失を理解することを含んだリスク評価およびコントロールを行うこと。
- 潜在的な損害の影響を防止または最小化するために必要とされる制御手法を確立することを含んだリスク評価およびコントロールを行うこと。

- リスク軽減対策のための適切な投資を判断するための費用対効果分析を含んだリスク評価およびコントロールを行うこと。

BCM 戦略の決定 - 次の知識と経験を示す必要があります。

- 目標復旧時間および目標復旧時点の範囲内で、事業を継続するために、代替となる事業復旧の運用戦略を選択して決定、指導し、一方で組織の重要な機能を維持すること。
- 目標復旧時間および目標復旧時点の範囲内で、事業を継続するための解決策を提供し、一方で組織の重要な機能を維持すること。
- インシデント発生中の内部ステークホルダーとのコミュニケーションに対する計画を開発、調整、評価し演習すること。
- 従業員とその家族の精神的ダメージに対してカウンセリングを提供すること。

BCM 対応の開発と導入 - 次の知識と経験を示す必要があります。

- インシデントまたは事象の後に発生する状況に対応し安定化するための緊急対応手順を開発し導入すること。
- 緊急時に指揮の中心となる緊急対応センターを設置し管理すること。
- 緊急事態に対処した実務的な経験があること。
- 目標復旧時間および目標復旧時点の範囲内で事業を継続するための、事業継続およびインシデントマネジメント計画を企画、開発、導入すること。

演習、維持およびレビュー - 次の知識と経験を示す必要があります。

- 演習の事前計画と調整を行い、演習結果を評価し文書化すること。
- 組織戦略において定めた方向に従い、継続能力および事業継続計画（Business Continuity Plan）に関する文書を更新し維持するためのプロセスを確定すること。
- 計画を適切な規格と比較し、結果を明確かつ簡潔な報告にまとめることで計画の有効性を評価すること。
- 適用される法律または規制への遵守を保持しながら、外部機関とともにインシデントの調整、継続、ならびに復旧活動を行うための適切な手順とポリシーを確立すること。
- 外部機関に対応し実務的な経験。

組織の文化に BCM を組み込む - 次の知識と経験を示す必要があります。

- 事業継続マネジメントプログラムまたはプロセスと、これを支える活動を開発し実施するために必要とされる社内への意識付けと認識の維持、ならびに、このために必要とされるスキルを向上させるためのプログラムを用意すること。

受験勉強

受験準備

受験準備として、一番重要なリソースは、BCIのGood Practice Guidelines 2010です。受験者は、GPGに従った事業継続マネジメント（BCM）の原則を理解しないといけません。

経験豊富なBCM実務担当者や専門家はGPGを約20時間読み込むことが求められています。経験値の少ない受験者は、それよりも更に時間をかけてGPGの読み込みをし、更に広い分野での知識習得が望まれます。

BCMのそれぞれの原則が、試験問題への割り当てをパーセンテージで下記にて参考までに記載します。

BCM原則		試験問題中のパーセンテージ
BCMポリシーとプログラムマネジメント		10%
組織の理解		25%
BCM戦略の決定		15%
BCM対応の開発と導入		25%
演習、維持およびレビュー		15%
組織の文化にBCMを組み込む		10%

教育・訓練情報

受験に際して、必要不可欠ではありませんが、受験準備としてBCIトレーニングなどを受講する受験者もいます。

BCI E-ラーニング&トレーニングコース

BCI では、BCM の知識を習得するため、自習方式で学べる E-Learning およびインストラクターによる 5 日間の教育訓練プログラムを用意しています（現時点では日本語未対応）。いずれのプログラムも BCM ライフサイクル、BCI Good Practice Guidelines (GPG) の 6 つの要件、BS25999 に準拠しています。これらのプログラムは、BCI 認定資格試験を受験する目的にのみ提供されるものではありません。試験問題の多くの部分は E-Learning プログラムにおいて網羅されていますが、現実の世界において習得する知識に代わるものではありません。

関連する情報および BCI が提供するプログラムの内容については以下を参照ください。

<http://www.thebcicertificate.org/index.html>

試験申込み

試験の受験資格

全ての受験申込者は、申込手続きを完了し、受験料を支払わなければなりません。

倫理規約

BCI 認定資格を取得しようとするものはすべて、Business Continuity Institute の倫理規約に従うことに同意するものとします。倫理規約は、次の Web サイトで参照できます。

<http://www.thebci.org/codeofethics.htm>

受験申込み登録

受験の申込みについては、下記のサイトを参照ください。

<http://thebci.jp/apply.aspx>

試験の予約

受験申込み登録を完了すると、4日以内に受付完了メール (Authorization-to-Test letter) が届きます。試験予約は、プロメトリックジャパン (www.prometric-jp.com) から行います。その際、受付完了メールに記載の情報が必要となります。

試験会場

試験会場は、プロメトリックジャパンのサイトに掲載されている会場から選択することになります。

注意事項：受験者は、一旦受付完了すると、その日から90日以内に受験しなければいけません。手数料を払えば、30日間の延長措置がとれます。延長措置の申請については、英語で下記までメールにて問合せすることになります。

education@thebci.org

試験申込み後について

代理受験

BCI 認定資格試験の代理受験は認められません。受験登録がなされた受験者のみが BCI 認定資格試験を受験することができます。

試験会場設備に関する特別な措置

障害等その他特別な配慮が必要とされる方については、受験申請に先立ち、予め contact@thebci.jp 宛 (標題は「BCI 試験特別配慮」をお願いします) に配慮が必要とされる事項等をご連絡ください。試験会場その他での対応可否等含め調査の上、その結果をご連絡いたします。

試験予約の変更及びキャンセルに関するポリシー

予約変更については、受験予定日の2営業日前までに、予約したサイト上で行わないといけません。

受験日から10日前以上のキャンセルについては、10,000円のキャンセルフィーを差し引いた39,500円を返金いたします。

受験日の10日前から3日前までのキャンセルについては、返金はいたしません。ただ再度受験申込みをされる際に、10,000円を差し引いた39,500円で受験いただけます。

受験日3日前以降のキャンセルまたは、当日欠席については、突発的な病気事由でない限り、一切返金はいたしません。病気事由の場合は、医者からの証明書を提出していただくこととなります。提出については、contact@thebci.jp 似てお願いします。

試験当日

身分証明の提示

試験当日、会場では、署名付きの政府発行の身分証明書を提示する必要があります。原則は、有効期限内のパスポートおよび自動車免許証になります。パスポートおよび自動車免許証をお持ちでな

い方で、自分の持っている他の身分証明書が要件を満たすかどうかについては、プロメトリックジャパンに確認してください。

<プロメトリックジャパン>

電話：03 - 5541 - 4800 （問合せ受付時間：9時 - 17時）

メールでの問い合わせは、下記のURLからお願いします。

http://www.prometric-jp.com/common_contents/contact_us.html

試験会場のルール

下記のルールは、全受験者に対して公平かつ一貫性のある受験を保証するために、全ての試験会場にて適用されます。

- 試験会場には、最低でも指定されている到着時間の30分前には到着するようにしてください。
- 試験会場への入場は前もって予約が必要です。受験当日は、事前に予約した時間および場所に行くようにしてください。
- 一切の試験に関する資料、文書、またはメモ類の試験会場への持ち込み、または持ち出しを禁じます。
- 受験者は、該当する画面上の指示に従い、特定の試験項目に対するコメントを提出することができます。PES および BCI はすべてのコメントに目を通しますが、コメントに対する文書による返答を提供することはございません。
- 試験会場は全て禁煙です
- 受験者は試験の内容に関する質問をすることはできません。
- すべての試験は監視されており、音声および映像にて記録されています。
- 試験中の休憩時間は予定されていません。席を離れる必要のある受験者は退出および再入場の際には身分証明書を提示する必要があるため、また追加時間が与えられることはありません。
- 試験中に試験会場を離れることはできません。
- BCI および PES は不正な方法にて取得されたと確信するに足るスコアを無効とみなす権利を有します。
- 受験席への、食べ物、飲み物、ハンドバッグ、ブリーフケース、ノート、計算機、ポケットベル、携帯電話、録音装置、および撮影機器の持ち込みを禁止します。
- 試験の内容を、いかなる形式、方法、口頭または記述、いかなる目的であれ、BCIの書面による明確な許可なしには、公開、公表、再現、または転送することを明確に禁じます。違反すると、民事または刑事訴求される可能性があります。
- 宗教上の被り物を受験席にて着用することはできますが、着用が許可されるのは、入室前に試験会場管理者の検査を受けていただくからになります。
- 受験者には、試験会場内では常識ある行動をとっていただく必要があります。試験会場職員または他の受験者に対して虐待的な行為が認められた場合、受験資格の喪失、および/または刑事訴求の対象となる可能性があります。
- 他の試験がBCI資格試験と同時に開催されているため、論文試験でのキーボードを叩く音や咳をする音、試験ルームへの入退場する人々の音などが聞こえる場合があります。プロメトリックが完全に騒音のない環境を提供することは出来ませんが、試験会場は「ホワイトノイズ」を背景音として提供いたします。また集中力を欠く要素を減少させる目的で耳栓や騒音減少用ヘッドセットを借りることができます。

天候不良、自然災害、その他地域・国の緊急事態

天候不良、自然災害、その他地域・国の緊急事態に関しては、予約状況を確認するためにプロメトリック (03-5541-4800) まで問い合わせるか、www.prometric.com/sitestatusまでアクセスしてください。センターが終了していたり、または連絡が取れない場合は、予約がキャンセルとなった場合は、受験者は2営業日待ってから再試験を受けるための再予約を取るために、前述の番号のプロメトリックまで問い合わせてください。

試験後

試験結果の受領

試験は0～500までのスケールドスコアを基準にしています。合格(「Pass」)するには最低380のスケールドスコアが必要で、「Pass with Merit」には425点が必要です。

試験の最後に、回答がプロメトリックからPESへ採点のために提出されたことの即時確認通知を、受験者は全員受け取ります。この確認書は結果がどこに送付されるかを表しています(この情報が正しいかを確認することになります)。

試験結果は受験後4週間から6週間で受験申込み時に記載したメールアドレスに送付されます。得点や合否の結果が電話で連絡されることは一切ありません。

BCI事務局が試験結果を受領するのは、受験者が結果を受け取るのと同様になるため、PESから受験者に対して結果が送付される以前に試験結果を知らせる立場にはないことをあらかじめご理解ください。

試験結果に関して質問がある受験者は、質問を直接書面にてPESまで送ることになります。

試験の機密保持の観点から、試験問題を受験者に提供することはありません。

6週間経っても正式な試験結果を受け取っていない場合は、education@thebci.orgまで英語にてお問い合わせください。

試験に合格した受験者は、BCIから直接CBCI証明書が試験結果が確認可能になってから4週間以内に送られてきます。通常受験後8週間から10週間の間に、適切なレベルのBCI認定プロフェッショナル資格への申請方法に関する詳しい情報とともに受け取ることになります。すでにBCI認定プロフェッショナル資格会員である受験者は、会員記録に結果が記録されます。

試験の申し込みと同時にAMBCIの申込みをされた受験者は特にさらなる行動の必要はありません。会員申込みは初年度会員費の受領後自動的に処理されます。MBCI資格への申込みを提出された受験者で、「Pass with Merit」で合格された方は、申請手続きを進めるのにBCIの会員担当部門より連絡させていただきます。

スコアリングとスコアレポート

正確な得点を報告するにあたり、PESでは公式な試験結果の発表前にさまざまなシステムチェックおよび所定の対応を実施しております。

PESはプロメトリックより、暗号化された電子ファイルの形式で受験者の回答を受け取ります。それぞれの回答はそれぞれの試験用紙に割り当てられた独自のスコアリングキーを用いて復号化されます。受験者は、受験時に、特定の試験フォームが割り当てられています。

スコアレポートの見方

スコアレポートには、受験者の合否、または「Pass with Merit」での合格かどうかを示されています。

「Pass」、「Pass with Merit」で合格、もしくは不合格かどうかは、スコアレポートのスケールドスコアで確認することができます。380点で「Pass」、425点で「Pass with Merit」となります。不合格または「Pass」（ただし「Pass with Merit」は除く）した受験者には、BCM 原則の各分野での得点が提示されます。それぞれの分野ごとに、総問題数に対するの正解数が示されます。この情報は自分の不得手な部分を特定し、資格更新に向けての将来のテスト対策として集中すべきエリアの特定、また自身にとっての専門分野を伸ばす機会を特定するために使用することができます。

合格レベルの設定

合格点は「passing point study」を通じて決定されます。具体的には、BCIおよびPESによって実施される修正アンゴフ法をもって行われます。アンゴフ法は資格認定の業界において一般的に使用される基準参照合格点テクニックです。

試験開発の過程において、経験と専門性を有するBCMの専門家（SMEs）からなるパネルが、資格保有者の適任要件を話し合い、業務分析を基にした各機能分野における仕事関連タスクをレビューし、資格保有者に必要な最低基準を作成します。ここから、最低基準を満たしている資格保有者と、その基準を満たしていない者を判別するための、仕事関連タスク遂行に必要な行動リストが作成されます。

各試験問題の評価方法について話し合ったのち、それぞれのパネルメンバーは、何人の資格保有の最低基準を満たしている受験者が正答できるかという観点から、実際の試験問題フォーム（120問）から各試験問題を個々に評価します。これら評価を用いて、各パネルメンバーの各問題に対する評価を平均し、全パネルメンバーの平均を合計することにより合格点を決定します。

スケールドスコアの説明と使用理由

BCIが受験者に提供する試験結果に関する情報は、生スコアではなくスケールドスコアです。生スコアとは試験問題に正答した数になります。

標準化が完了すると、生スコアは数学的に、0から500の範囲を取るスケールドスコアへと変換されます。スケールドスコアの380点は常に合格最低点を表し、「Pass」となります。スケールドスコアは、どの試験問題フォームや受験場所・日程にかかわらず、等しく評価された点数です。そして受験者はいつの試験を受けたかに関わらず、合格するには380点獲得する必要があります。スケールドスコアは「正解数」でも「正解率」でもありません。

標準化について

試験の一貫性およびセキュリティを維持するために、各BCI試験は違う問題の組み合わせで作成されます。ですから、まったく同じ試験問題構成は存在しません。ただしすべての試験は同一の試験仕様に従って、難易度の点では類似するように作成されています。ただし、難易度がまったく同じということはありません。難易度の変動による結果の不平等を削減するために、全試験回答に対しての合格点を決定するのに標準化を行います。

全体的な難易度に多少の変動があったとしても、標準化によって、同程度の能力を持つ受験者ならばおおよそ試験に合格するようになっていきます。この統計的処理により、試験問題の難易度の変動を相殺するために、各試験問題の生スコアによる最低合格点を調整します。たとえば、ある試験問題では、70問正解することで合格換算点380点に到達し、また別の試験問題では74問正解することで同じく合格換算点380点に到達するようになっていきます。

再受験

受験で不合格となった場合、受験後3ヶ月間は再受験はできません。

再受験の際の、受験料や全てのプロセスは通常受験と全て同様となっています。

資格維持

CBCI資格の維持には、年間費の支払いの必要があります。現在の年会費額は、75英国ポンドです。1年に1回BCI本部より請求書が届きますので、その指示に従って支払ってください。この支払いをすることで、BCIの継続プロフェッショナル育成 (CPD) などのプログラムへのアクセスが可能になります。また、この年会費は、プロフェッショナル資格者になることで、支払う必要がなくなります。

資格更新

BCI資格試験に合格するという事は、BCIのGPG2010の知識を習得していることを証明したことになります。

でも、これは最初の1歩にすぎません。BCM分野は絶えず変化しており、BCM実務担当者にとっての挑戦とは重要な事柄、そして職場での高まる要求に遅れることなく追従することにあります。資格の更新は、資格を持つ専門家が自身の実力が通用すること、そして自身の競争力を維持し続けていることを示すことなのです。

資格取得者 (CBCI)は、BCI認定プロフェッショナル資格会員になり、BCIのCPDスキームに参加していない限り、3年ごとの資格の更新が必要となります。

試験結果の無効

まれに、試験スコアを無効にするような状況が発生することがあります。BCIは、BCI Membership Councilの意向により、正当な理由によってスコアの有効性が疑われる場合には、スコアの取り消しまたは差し止めをする権利を留保します。

理由には、受験者が確かな身分証明書を持っていない場合、許可されていないメモ、本、書類を使用した場合、援助したことまたは援助されたことが疑われる場合、試験室から試験資料またはメモを持ち出した場合、受験の際の指示に従わない場合などがあります。このような状況では、受験者はスコアの調査に協力するように求められます。個々の受験者の不正行為ではなく、複数の受験者に影響するような試験の不正行為が発生することもあります。このような問題には、運営上のミス、設備や資料の欠陥、試験内容への不正アクセス、試験内容の許可されていない共同使用、その他の試験運営上の混乱（自然災害やその他の非常事態）などがあり、またこれらに限りません。

複数人に影響する試験の不正があった場合、SMTはBCIに情報を提出するために調査を実施します。その情報に基づいて、試験の採点をしないか、試験スコアを取り消すように、BCIがSMTに指示することがあります。

適切な場合には、BCI は PES と調整して、影響を受けた受験者ができるだけ早く、無償で再受験するための機会を設けます。

影響を受けた受験者には、取り消しの理由と再受験のオプションを通知します。複数人に影響する試験の不正については、抗議手順は適用されません。

資格剥奪

BCI は、BCI 資格を取得しようとした者が次のいずれかに該当することが判明した場合には、BCI 資格を取り消す権利を有します。

- 申請手続きで、意図的な偽りによる不当な記述があった場合。
- 試験内容を漏えいした場合。
- 不正な代理行為があった場合（自身を詐称するか、誰かになりかわって試験を受けようとした場合）。
- 認定資格の更新手続きで虚偽があった場合。
- 認定試験で不正行為があった場合。

試験結果意義申し立て

BCI のポリシーにより、受験者が電子採点に誤りがあったと考える場合には、各受験者はスコアの誤りを申し立てることができるものとします。

受験者がスコアの誤りを申し立てる場合は、書面で「手作業による検証 (hand verification)」を要求します。受験者はグレードの通知を受け取った日から 30 日以内に申し立てを行う必要があります。PES は手動で受験者の回答と正解を照合して、スコアの計算を調査します。

この申し立てのための料金は通常 75 ドル (US ドル) で、申し立てを行う際に PES に支払う必要があります。料金を支払わない場合、申し立ては処理されません。

再採点または手作業による採点が受け付けられると、その受験者の元の回答シートが試験ファイルから取り出されます。まず、最初の採点に影響した可能性のあるマーキングの消しあとまたは下書きが目視で確認されます。次に、コンピュータで再採点されます。再採点結果と最初に受験者に報告したスコアを比較して、最初のスコアが正確にダウンロードされ報告されているかどうかを検証します。そのあとで、受験者の回答シートと印刷した正解のコピーとを比較します。これは 2 名の担当者によって実施し、正解の印刷されたコピーは使用後に MIS 部門に戻して廃棄します。

再採点の結果が「Pass」または「Pass with Merit」である場合、75 ドル (US ドル) は受験者に返金されます。それでも不合格と判定された受験者が PES からの回答に満足できない場合、受験者は申し立てる事項とその論理的な根拠を具体的に示した文書を提出できます。これを PES に提出すると、最終決定のために BCI Membership Council に転送されます。

受験を断られた場合や、抗議するその他の根拠がある場合には、スコア通知の日付から 7 日以内に PES に対して抗議の論理的な根拠の詳細を包括的に記述した文書を提出してください。この抗議のための料金は 75 ドル (US ドル) で、抗議を行う際に SMT に支払う必要があります。料金を支払わない場合、抗議は処理されません。BCI Membership Council は抗議書を調査して、90 日以内にその決定を受験者に通知します。

BCI Membership Council による決定は最終的な決定になります。受験者が試験への参加を不当に拒否されたと判断された場合、受験者はただちに追加料金なしで受験申請を行うことが許可されません。

BCI 認定プロフェッショナル会員資格申請

推奨合格スコアの決定

二つの異なる合格レベルが設定されています。

「Pass」: スケールドスコアの 500 点満点中、380 点以上を取得した人に与えられます。

以下の対象者に対し設定されます。

- ・ CBCI 資格取得者
- ・ BCI 認定プロフェッショナル会員資格 AMBCI 申請者
- ・ BCI 認定プロフェッショナル会員資格 SBCI 申請者

「Pass with Merit」: スケールドスコアの 500 点満点中、425 点以上を取得した人に与えられます。

以下の対象者に対し設定されます。

- ・ BCI 認定プロフェッショナル会員資格 MBCI 申請者

試験に合格する以外に、BCI 認定プロフェッショナル会員資格を取得しようとするものは全員 BCM における実務経験を証明するものの提出が必要となります。

MBCI を申請し「Pass with Merit」を通知されたにもかかわらず必要とされる実務経験（すなわち 3 年間）を満たしていないものは、AMBCI の資格付与と、必要とされる十分な実務経験を充足したときに「Pass with Merit」とともに MBCI の資格に移行できるための"bank" のグレードが付与されます。

BCI 認定プロフェッショナル会員資格取得要件

BCI 認定資格試験に見事合格し、さらに BCI 認定プロフェッショナル会員資格を取得しようとするものは、以下の実務経験が必要とされます。

Specialist Member of the Business Continuity Institute (SBCI)

SBCI の会員資格申請者は、少なくとも 2 年以上の常勤での BCM 実務経験または BCM 関連分野での経験（これについては、当該分野、例えばリスク、情報セキュリティでの専門資格保有が必要）を保有し、かつ BCI 認定資格試験の合格レベルが「Pass」であることが必要です。この資格は、BCM の特定分野またはその関連分野に精通したスペシャリストを認定するものです。MBCI 会員申請をし、受理されなかった場合に自動的に付与されるものではありません。

Associate Member of the Business Continuity Institute (AMBCI)

AMBCI の会員資格申請者は、少なくとも 1 年以上の常勤での BCM 実務経験を保有し、かつ BCI 認定資格試験の合格レベルが「Pass」であることが必要です。

Member of the Business Continuity Institute (MBCI)

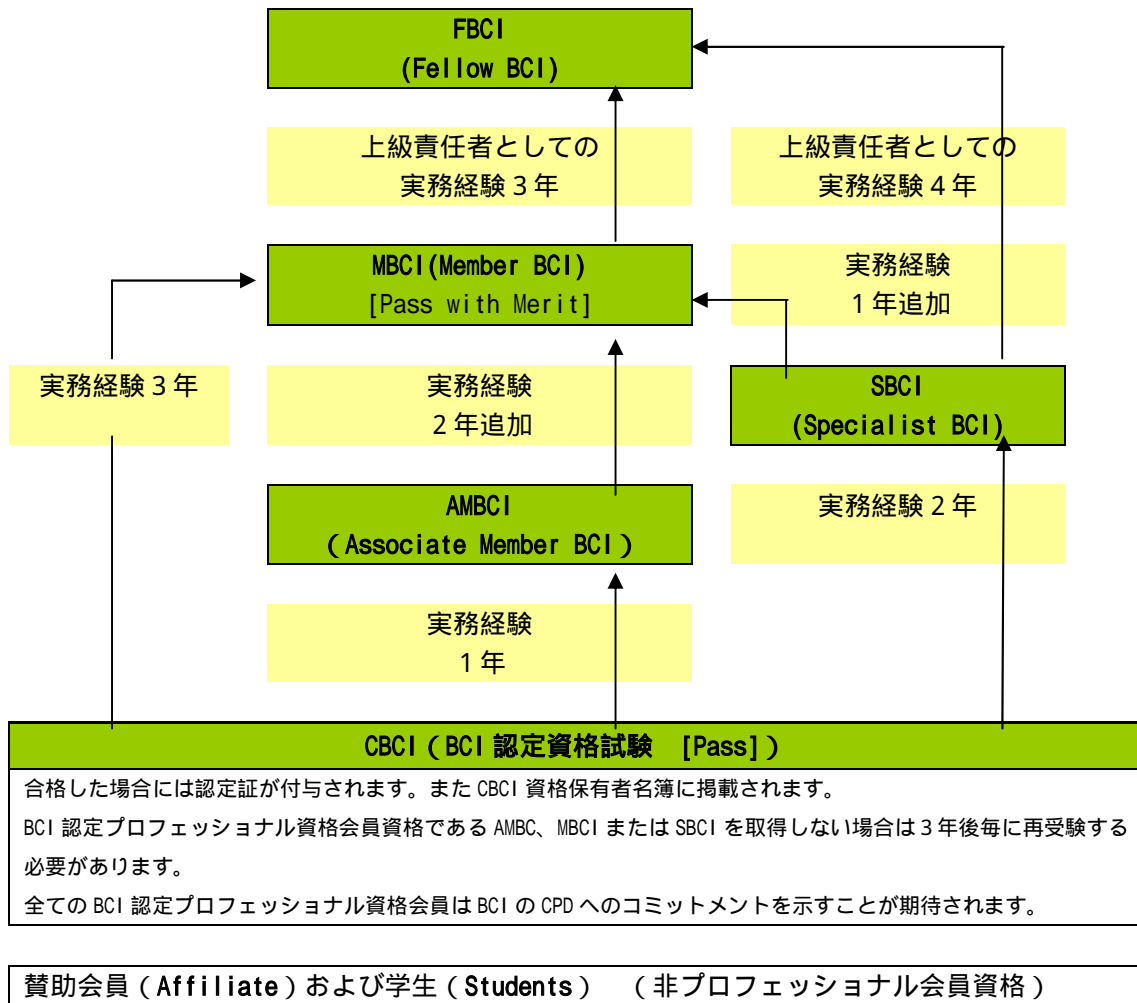
MBCI の会員資格申請者は、少なくとも 3 年以上の常勤での事業継続実務家としての経験を保有していることが必要です。MBCI の会員資格申請者は、BCI 認定資格試験の合格レベルが「Pass

with Merit」と呼ばれる高い得点を取得することが必要です。MBCI の会員資格申請者は全員、BCM を実践的に適用するための十分な経験と知識を保有しているかどうかを評価するために、BCI Membership Council によって選任された評定委員により評定にかけられます。

これらの条件のいずれかを満たすことができない MBCI の会員資格申請者には、該当すれば AMBCI が与えられます。

プロフェッショナル会員資格申請プロセス

BCI は、実務経験に関する要件を充足した合格者に対し、BCI 認定プロフェッショナル会員資格への資格取得を勧めさせていただく書面を、試験結果が出てから 4 週間以内に通知します。申請に必要な書類は www.thebci.org/index からダウンロードすることができます。



試験後 資格要件適合監査

BCI 認定資格試験に合格し、AMBCI または SBCI の資格取得を希望している申請者に対して、BCI のポリシーとして、資格要件の適合性を確認するため全申請者の 5~10%に対して、監査を実施します。監査には、雇用主および教育機関に照会を行うことも含まれます。

MBCI の資格取得を希望している申請者の場合、レファレンスを取らせていただくとともに、学位を確認させていただきます。MBCI の申請者は評定のため、さらに別途書面を提出いただく必要があります。このプロセスは、最大で 8 週間まで掛かることがあります。